

2

血液製剤は病院など医療機関という限られた場所で使われており、また、血液製剤の種類によっては、特定の

ここに紹介するのは、小児がんと闘った4歳の男の子のお話です。輸血のことを「アンパンマンのエキスだ」と言って、人から血液をもらうことに感謝し、病気と果敢に闘ったことが綴られています。

血液事業に携わる関係者は幅広く、国、都道府県や市町村、日本赤十字社をはじめ、血液製剤の製造販売業者、製造業者、販売業者、実際に製剤を使用する医療機関、患者の方々、そして、献血に協力してくださる企業やボランティア、国民のみなさん。このように多くの人々の協力により、血液事業は成り立っています。ひとりでも多くの人を救いたい、そんなひとりひとりの思いがこれからの血液事業を発展させていくのです。

小坂輪血
 血小板は
 血小板は
 72時間し
 頃きり
 年は尾崎の腕線事故もありま
 す

輸血を支えているのは
善意の献血です

「献血してくれた人たちにありがとうの気持ちを伝えたい」と、小児がんとたたかいたある男の子の母親さんが日本赤十字社の献血ルームにメッセージを残しました。病気や事故の治療に使われる血液は、献血によってまかなわれています。献血者が減少する傾向にある近年ですが、その意識がなければ、日本の医療そのものが成り立たなくなってしまうという過言ではありません。

過酷な治療を支えた輸血

ある男の子の闘病記

カメの足のとって、10
月にも及ぶ飼育生活はあ
まり、つまらないものでは
ない、むしろ楽しいであ
り、すけいは細菌性細
胞腫瘍病とのが、1989
年秋、その腫瘍の大きさに
驚愕し、検査を受けたところ、
腫瘍は小児がんでなく、抗
がん剤類もきかずにでな
いと断り取ない、仕組
みながらが飼育まし、
手術をかねて、何の治療
しければ、4年は生き
られ、3、5日は意識
が回復する、すけいは
すぐ、開腹してがんを
摘出、腫瘍は、りうすけ
いの体も回復した、

がれなくなるほどぐったりし、嘔吐を繰り返しました。がん細胞と同時に正常な細胞が壊れ、これが原因で死亡す

保存がきかない血液

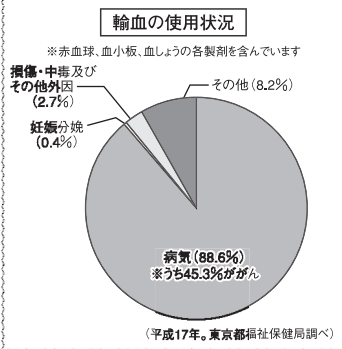
血の教をいひ近頃、
 近時、休養最要す。
 アババの土主（土主）
 されど、西を敢り
 ました。

「早なれや」。サとこ
 ころから院す。病院に
 預けられては長手と振
 りぬが折るに、そと
 四じターの画詩、関係
 の華も子さは一ふん
 けりいたける企業や校
 校、護生生への粉な

「あは山をのみまた」
 以後、ランバ、ハ
 王三（王三）、小曲と血
 告白、云々への呼び
 けり護生生への粉な

がん治療にもっとも 必要とされる輸血

交通事故など不慮の災害などの時に輸血は必要です。一般にそのイメージが強くなりますが、実際血液の使われ方では意外にも事故は少なく、もっとも輸血が必要な場面は病気の治療です。病気のうち半分ががん治療で、残りの半分がたかたかたの神経衰弱腹膜炎の一つでした。



献血の仕組みについて



献血ができる場所には、お医者さんや看護士などの他にも、呼びかけなしでをするボランティアの方がいます。献血には、一度でも輸血を受けた人は献血でささい、という決まりがありますので、輸血によって生きのびをもらった人が、ボランティアで献血の仕組みを支えていることも多いのです。

■ 献血ルームなど

日本赤十字社血液センター

献血された血液を患者さんに輸血で
きるように、血液の安全性を検査し
て、病病院に届けるための準備をしてい
ます。また、献血をしてもらった血
液を成分ごとに分けて目的にあった
輸血用の血液を作ったり、保管した
りする大切な役割もあります。



血液センターから血液を受け取る患者さんには輸血を行います。病院では入院をしている人の手術用や、交通事故などの緊急用に血液が必要になるため、血液センターと密接に連絡を取り合っています。緊急時に備え、より多くの血液を確保する必要があります。

(平成18年度版「けんけつHOP STEP JUMP(生徒用)」より)